# 指定管理者評価シート

		建設局みどりの推進部みどりの管埋課
事業名	公園管理費	所管課(電話番号)(2536)
		清田区土木部維持管理課(888-2800)

# I 基本情報

1 施設の	1_ 施設の概要 					
名称	①平岡公園 ②清田南公園	所在地	①清田区平岡公園 ②清田区清田7条2丁目			
開設時期	①平成3年3月31日 ②昭和61年3月31日	延床面積	①663,699㎡ ②68,938㎡			
目的	都市公園の健全な発達を図り、もつて公	都市公園の健全な発達を図り、もつて公共の福祉の増進に資すること。				
事業概要	平岡公園、清田南公園の維持管理及び する業務)	平岡公園、清田南公園の維持管理及び運営(園内の維持管理、管理事務、園内の安全確保に関する業務)				
主要施設	①梅林、野球場、庭球場、パークゴルフサ	①梅林、野球場、庭球場、パークゴルフ場、遊戯広場 ②多目的広場、庭球場、スキー山				
2 指定管	2 指定管理者					
名称	公益財団法人札幌市公園緑化協会	公益財団法人札幌市公園緑化協会				
指定期間	平成30年4月1日~令和5年3月31日	平成30年4月1日~令和5年3月31日				
募集方法						
指定単位	施設数:2 複数施設を一括指定の場合、その理由:①公園管理事務所を有しない公園と有する公園をグループ化し、公園管理上の支障をなくす。②公園管理上の経費及び効率化(環境負荷の低減等)の面から、比較的近接している公園をグループ化した。					
業務の範	位囲 公園維持管理業務、有料公園施設(野球	公園維持管理業務、有料公園施設(野球場、庭球場)運営(利用料金制度)				
3 評価単	施設数:2 複数施設を一括評価の場合、その理由:同一の指定管理者で維持管理しているため。					

## Ⅱ 令和4年度管理業務等の検証

エーリが11十尺日在末初寺の校証						
項		実施状況	指定管理者 の自己評価	所管局の評価		
1 業務	の要求が	K準達成度				
(1)	統括管理	▽ 管理運営に係る基本方針の策定		A B C D		
業務		公益財団法人札幌市公園緑化協会(以下、「当協会」)は、当協会の《理念》の達成のための方針である《公益性「5つのK」》のもとで、以下に示す『管理運営の基本方針』にしたがって、札幌市の貴重な財産である公園緑地の管理運営に携わった。  1. 平等・公平な利用の機会を確保し、公共の福祉増進の場としての利用効果を高める。  2. 関係法令・条例等を遵守し、利用者や市民の声の反映とその発信に努め、開かれた管理運営による安全で安心、快適な利用環境を提供する。  3. 資源・施設の長寿命化を念頭に置き、効率的な管理運営による経費削減を図り、安定した質の高いサービスを提供する。	平岡公園には 、 は、地景観えいる。 は、地景観を では、地景観が では、地域では、 ででででででででは、 ででででででは、 ででででででは、 ででででででは、 ででででででは、 ででででは、 ででででは、 ででででは、 でででは、 でででは、 でででは、 でででは、 ででは、 でででは、 では、	基本子計に基の特別の場合を表現のである。というでは、本方ののでは、一点の		

- 4. 自己実現、生涯学習の場として積極的な利用を 促すため、市民や関係諸団体・機関等との連携・協 働を推進し、活動の場としての魅力を高める。
- 5. 公園と周辺自然林の自然環境に接し、守り育て る活動を通じて、市民の自然を大切に思う心をはぐく む。
- 6. 公園の特徴である、札幌近郊で最大の梅林を最 大限に活かし、公園の魅力・価値の向上に努める

園内の安全管理の 観点から、日常巡 回に重点をおき、施 設の不具合を発見 した際は、使用禁止 や通行止めなどの 処置を図り、事故防 止に努めた。 今後も限られた予 算・収入の中で取組 み項目に優先順位 を付け、管理運営 の効率化を目指し たい。

▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績

年齢や障がいの程度、性別、主義・主張、思想・信 条、民族や言語、社会的地位や身分の違い等によっ て、公園の平等利用が妨げられないよう、また、利用 者に不公平感を抱かせることのないよう、スタッフ教 育を徹底し、施設の管理運営を行う。

人気のある自然 林内で、動線の段 差、窪み、腐朽施設 用できるよう適切 等を調査し、危険と│な対応に努めたこ 思われる箇所につ いては簡易補修を 行い、事故防止を 図った。また、休養 施設の更新も含め た大規模補修部分 は、札幌市と協議す るとともに、補修の 可否や利用状況な どから判断して利用 に耐えられないベン チ等の撤去を行うな ど、適切な対応処 理を行った。また、 管理事務所で車い す及びベビーカー の貸し出しを行った. が利用はなかった。

公園利用者が平 等かつ安全に利 とを評価します。

- ▼園路丸太階段の簡易補修を行った
- ▼管理事務所で車いす及びベビーカーの貸出を行っ た。
- ▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進
  - ▼環境マネジメントシステム(EMS)を運用し、電気使 用量の削減等の取り組みを行っている。
  - ▼職員に対して、環境マネジメント研修を年1回(4 月)実施した。
  - ▼植物残渣のリサイクルを実施するなど、環境に配 慮した管理を行った。

電気使用量につい ては、平岡公園の −部園路灯の消灯 などお行い節電意 識の向上に努め た。また、梅まつり 中止による節電効 果もあった。植物残 渣のリサイクルや環 境に配慮した減農 薬管理については、 継続して取り組ん だ。

節電意識の向上 に努めたことを初 |め、環境に配慮し た取り組みを行っ たことを評価しま す。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従 計画の通り人員を 1適切な対応につ 事者の確保・配置、人材育成)

- ▼業務分担、指揮命令系統、連絡系統等を定めた。
- ▼当初の事業計画書の通り、採用したボランティア コーディネーターを継続して本年度も採用した。

配置し、研修による「いて評価します。 人材育成を行い、 的確な管理を遂行 した。また職員の支巾の配置を行うな 援体制を確立し、緊慢、活動者への積 急支援をおこなっ た。ボランティア コーディネーターを 配置し、ボランティ アの活動支援を行 い、活動者の満足 度を高めた。

また、ボランティア コーディネーター 極的な支援につ いても高く評価し ます。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

▼作業機械の整備環境を充実させるため、交換部 品、潤滑油脂類等の在庫を増やし、また老朽化が著 しい機械は更新し、作業の効率化を図った。

老朽化した機械が 適切な対応を行っ 多く、作業効率が低 たと評価します。 下してきたため、整 備作業を充実させ るとともに機械の更 新も徐々に進め、改 善を図った。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確 保、受託者への適切監督、履行確認)

▼電気保安、機械警備、自動ドア保守点検、遊具精 密点検、塵芥処理、公衆トイレ清掃など、直営での対 応が困難な作業について、第三者に対する委託を 行った。委託に際しては、確実な事前打ち合わせ、 作業中・作業後の現場確認のほか、日報等による文 書での業務履行確認を行った。

画に沿って適切な 対応を行うことがで きたと考える。な お、電気保安点検 の際は、同行して作 業確認を行った。

実施状況の通り、計適切な対応を行っ たと評価します。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等 の開催)

開催回	協議∙報告内容
3月16日	ウメの開花について(梅まつり含む) 自主事業の実施状況について 施設の老朽化について 清田南公園について

<協議会メンバー>

みどりの管理課

札幌市みどりの管理課係長2名、担当者1名 清田区土木部 担当者2名

(公財)札幌市公園緑化協会事業3課長、管理事務 所長、担当者

みどりの管理課と清|適切な対応を行っ 田区土木部の参加 | たと評価します。 で運営協議会を開 催し、前年に引き続 き有意義な協議が できた。新年度の管 理運営に協議内容 を活かしてていきた

#### ▼公園利活用協議会

開催回	協議•報告内容
第1回 12月21日	はらっぱ会議
/ I + = + A / A	* *

<協議会メンバー>

平岡どんぐりの森、札幌市立大学専門研究員矢部 和夫、酪農学園大学中谷暢丈教授、有識者高井孝 太郎先生、札幌市みどりの管理課、(公財)札幌市公 園緑化協会平岡公園

平岡公園で開催を 行った。久々の実開スにより期間をあ 催で湿地調査や今 | けての開催となり 後について有意義 な意見交換が行え

新型コロナウイル ましたが、人工湿 地調査や施設改 修に関することな ど様々な意見交 換が行われた点 について評価しま す。

開催回	協議·報告内容
第2回 3月24日	はらっぱ会議

#### く協議会メンバー>

平岡どんぐりの森、札幌市立大学専門研究員矢部 和夫、酪農学園大学中谷暢丈教授、有識者高井孝 太郎先生、(公財)札幌市公園緑化協会平岡公園

平岡公園で開催を「適切に定期的な 行った。次年度のイ 開催が行われて ベント日程の調整 や協力体制の確認「評価します。 を行った。

いることについて

#### ▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

- ▼資金管理については、指定管理業務や自主事業 等、公園ごとに区分している。
- ▼当協会の規定に基づき、現金や金券類、預金通 帳等の施錠管理や帳簿類の内部監査を年2回実施 しているほか、公認会計士2名による外部監査を導 入している。
- ▼現金等の取扱いに関しては、現金取扱規定を整 備しており、管理体制の強化及び不祥事防止の取組 みを行っている。

不正行為や事故発「適切な対応、管理 生の未然防止のた を行っていたと判 め、複数名による現物します。 金等の確認を徹底 した。

不正経理等はなく 問題はない。

#### ▽ 要望・苦情対応

▼要望・苦情対応については苦情等対応報告票に より、スタッフと協会本部、札幌市への情報共有を 行っている。作業中の要望等については、終業ミー ティングの際、確実に管理責任者に伝達するよう徹 底した。

> 苦情7件、要望2件、称賛1件 平岡公園 清田南公園 苦情3件、要望1件、称賛0件

平岡公園では例 年同一人物からの パークゴルフ場に関す。新型コロナウ する苦情が1件発 生した。苦情主との 制限も緩和が進 コミュニケーションを | み、公園利用者が 密にし今後は苦情 が発生しないよう改 | 施設に関する苦 善を図っていきた い。また、有料運動「り増えていると思 施設の利用に関す る苦情が発生した。 も真摯な対応をお 清田南公園では、2 願いいたします。 4時間開放の駐車 場の利用に関する 苦情が発生した。注 意看板を設置する などしたが根本的 解決は難しい。

適切な対応を行っ ていたと評価しま イルスによる行動 増えたことにより、 情・要望が昨年よ われますが、今後

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリ ングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己 評価の実施)

- ▼要望、意見については、公園管理運営等に役立て るため、情報の共有をしている。
- ▼月毎、四半期毎、年度での札幌市への報告の際、 マネージャーによるセルフモニタリングを記載し、報 告を行った。

苦情・要望件数の 過去との比較、アン ケート調査による利| 用者満足度を把握 し、適正な業務の評 価を行った。

しかし、新型コロ ナ感染防止のため 対面でのアンケート が難しく、イベントの 中止も続いたことか ら、サンプル数が少 なくなった。

適切な対応を行っ ていたと評価しま す。

(2) 安働関係 法令遵守、雇 用環境維持 向上

(2)労働関係 ▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上(事故の有無法令遵守、雇などの安全衛生面を含む)

- ▼ スタッフの雇用に関して、労働基準法、最低賃金法、 労働安全衛生法、労働者災害補償保険法、健康保険 法・厚生年金保険法、雇用保険法、労働契約法、男女雇 用機会均等法、次世代育成支援対策推進法、女性活躍 推進法、育児休業・介護休業等に関する法律、労働保険 の保険料の徴収等に関する法律、その他関連する法令 等に基づき、主として以下のような届出・対応等を行っ た。
- ・全てのスタッフに対し、北海道最低賃金920円(令和4年10月2日発効)以上の時給を支給した。
- ・施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深 夜残業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃 金を支払った。
- ・就業規則・要綱の改正を行い、札幌中央労働基準監督署に適切に届け出た。
- ・全スタッフの就業時間や休日等について、労働基準法を遵守した。
- ・スタッフに時間外労働又は休日労働をさせるにあたり、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、札幌中央労働基準監督署に届け出た。
- ・全てのスタッフを労災保険適用とし、条件を満たすスタッフを雇用保険に加入させた。
- ・労働保険料等算定基礎賃金等の報告を北海道労働 局へ提出し、労働保険料を納付した。
- ・スタッフの勤務形態、家族状況等に応じて健康保険・ 年金保険資格を取得するよう、適切に届け出を行った。 ・年1回の定期健康診断及びストレスチェックを実施した。
- ・短時間雇用管理者を選任し、北海道労働局へ届け出た。
- ・有期雇用契約者のうち、無期転換申込権が発生した者に対して周知し、希望の申し込みを随時受け付けた。 ・次世代法及び女性活躍推進法に基づく一般事業主行動計画を公開・周知した。
- ・女性活躍推進法に基づく認定制度「えるぼし」において、女性の活躍推進に関する状況等が優良な団体として「認定段階3」を受けたことを周知した。
- ・安全衛生委員会を設置し、毎月1回、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、各公園の担当課長がリモートワーク等により出席して委員会を開催し、職場の安全確保及び健康障害の防止に係る議題について検討し、その結果を各公園・施設のマネージャーを通してスタッフに周知して、健全な職場環境の実現に努めた。
- ・維持管理作業従事者を対象に、作業における安全確保や機械の取扱いに関する講習を実施した。
- ・ワーク・ライフ・バランスの実現に向けて、育児休業等の取得奨励、職場内コミュニケーションの活性化、有給休暇取得の奨励、ノー残業デーの設定などの取組みを行った。
- ・公的資格の取得支援、接遇や安全・技術等に関する 内部研修の実施、優秀なスタッフや高年齢者の継続雇用 など、雇用環境の整備により、市民サービスの向上等に 結びつく取組みを行った。
- ・第三者への委託業務について、受託者に当該業務従 事者の労働環境に関わる情報提供を求めた。

A B C D

指定管理施設の現場と本部事務を関しまるとともに、関係をといるといるとともに、関係の必要確関のではなど、関係はでいるとが、対象をでは、関係は、対象を連続をできまれる。

べての関係手続き について適切に対

応できた。 当団体での労働 災害発生ゼロを目 指して、毎朝のKY 活動、ヒヤリハット 事例の共有、安全 大会の開催(新型コ ロナウイルス感染 拡大防止の為、各 公園単位で開催)、 安全講習の実施等 に取り組んだ。事故 が発生した際には、 安全衛生委員会に おいて、原因検証と 再発防止の検討を

実施した。 安全な職場環境 の実現と、スタッフ の雇用環境の向上 を進めるなかで、市 民サービスの向上 につなげることがで きた。

適切な対応を行っていたと判断します。

(3)施設・設 備等の維持 管理業務

- 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上 への配慮、連絡体制確保、保険加入)
  - ▼利用者の安全については、要所に注意看板、ロー プ柵等を設置して確保している。
  - ▼拾得物の取扱いについては、遺失物法に則り、適 正に対応している。
  - ▼損害賠償責任保険は仕様書の要求水準に適合し たものに加入した。また、保険の必要な自主事業の 実施時には、徴収した参加費から傷害保険料を支出 して対応した。
  - ▼普通救命講習の未受講者はweb講習を受講し た。
  - ▼新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、管 理事務所内の触れる場所への消毒や入口に消毒液 の設置、人が集まる状況の際の換気、マスク着用・3 密回避などの励行・注意喚起の看板を事務所内の 他園内各所に掲示した。イベントを行う際は、時間短 縮や手洗い消毒の励行、密にならないよう内容をエ 夫するだけではなく、スタッフや協力ボランティア団 体、参加者にも検温実施するほか注意喚起を行っ た。

▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修 繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)

- ▼高圧受電設備点検については適切に実施し、6月 と12月には絶縁抵抗試験、接地抵抗試験を実施し た。なお、月次点検及び抵抗試験は第三者委託によ り実施した。
- ▼梅林地区の腐朽した木製丸太階段については、 札幌市と協議し、一部の交換修繕を行った。
- ▼湿地に隣接している池に、水位調節のため可動で きる止水壁を設置して水の増減に対応した。
- ▼金額20万円を超える修繕については、事前に札幌 市と協議し、承認を得たのち実施した。
- ▼新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、梅 まつりを中止し、売店を縮小したうえで花見開放を 行った。

▽ 防災

- ▼ウメ開花期間中の梅林警備計画書を消防署と警 察署に提出した。
- ▼ウメ開花期間中の警備のための道路許可申請を 札幌市の代理として提出した。
- ▼管理事務所及び格納庫の消防設備等点検を行 い、札幌市清田消防署長に報告した。

計画に沿った業務 運営・研修・訓練を 実施し、満足のいく 結果であったと捉え ている。公園利用者 に危険が及ぶ項目 について、優先的に 対応した。

新型コロナウイルス まん延防止等重点 措置による管理事 務所の利用制限時 についても、トイレ・ 受付利用や園内利 用は継続していたこ とから、巡視による 点検や利用者の安 全確保なども通常 通り実施した。

適切な対応を行っ ていたと判断しま す。新型コロナウ イルス対策により 利用制限等がか かっていた時期に ついても、臨機応 変に対応を行った ことを評価します。

В С D

簡易に改修できるも 修繕については のについては、ス タッフ間で検討・エ 夫して実施した。老 朽化した休養施設 や丸太階段の改修 は、札幌市と協議し つつ、補修が困難 で利用頻度の少な いエリアのベンチの 撤去などは昨年同 様行い、安全の確 保に取り組んだ。ま た、園路灯や受電 設備が設置から年 数が経過しているこ とから、安全面を鑑 み更新を要望した い。

適宜工夫して適切 に対応したことを |評価します。

ス感染拡大防止の ため、梅まつりを中 止として、出店売店 れたことを評価し を縮小して、花見開 ます。 放を行った。例年と は異なった花見の 管理となったが、警 察及び消防と打ち 合わせを行い大き な問題は発生せず 実施できた。また、 今年度より豊平警 察署の指導により 道路許可申請を札 幌市の代理として 提出した。

新型コロナウイル「ウメ開花期間中、 大きな混乱もなく |適切な対応がなさ

#### (4)事業の計 ▽ 画•実施業務

- 環境に関する学習機会の提供業務
- ▼環境イベントを19回実施(計画24回) 参加者360人(計画360人)
  - ※3回新型コロナ感染防止のため中止 2回天候不良 1回参加者なし

新型コロナ感染対 策を行いイベントを できる限り開催し た。中止となったイ ベントもあったが計 画参加人数を達成 することができた。

B C D 新型コロナウイル スの感染対策を 行いつつ柔軟に 対応し、多くのイ ベントを実施した 点について評価し ます。

▽ キタキツネのエキノコックス対策

北海道衛生研究所の指導を受けて、今年度もキタキ ツネのエキノコックス対策として、自作したベイト(駆 虫薬入りの餌)の散布を月1回行った。

平岡公園にはキタ一適切な対応につ キツネが生息しておいて評価します。 り、過去の酪農学園 大学によるフンの調 査でエキノコックス の陽性反応が出て いることから、利用 者及び従業員の安 全安心のため、本 年度も継続した。

### に関する業 楘

(5)施設利用 ▽ 利用件数等

R3年度実績 R3年度計画 R4年度実績 件数(件) 129 201 平岡 3708 \_ 5130 人数(人) 野球場 稼働率(%) 23 23 件数(件) 1581 \_ 2600 平岡 人数(人) 7739 12192 庭球場 稼働率(%) 38 \_ 37 267 428 件数(件) 清田南 人数(人) 1336 2021 庭球場 稼働率(%) 25 21

策をしたうえでの有 料施設開放であっ たが、前年までのよ 異なる対応が必 うな運動施設の閉 鎖がなかったことか |が、適切な対応が ら、前年に比べると | 行われたことを評 利用件数及び利用 者数が飛躍的に回 復した。また、遠足 などの利用も回復し た。

ВС D 新型コロナ感染対 R3と比較し利用者 |数が増加した点に ついて、前年とは 要とされたと思う |価します。

	R3実績		R4画		R4実績	
	平岡	清田南	平岡	清田南	平岡	清田南
イベント	0	0	-	-	0	0
学校行事	21	4	_	-	50	5
その他	30	1	-	-	31	2

▽ 不承認0件、 取消し524件、 減免9件、 還付80件 取消し(平岡)445件(清田南)79件 減免(平岡)9件 (清田南)0件 スポーツの日(平岡)0件 (清田南)10件 現金還付(平岡)62件 (清田南)18件

#### ▽ 利用促進の取組

▼スポーツ施設利用の際に、今後の空き状況をお知らせし、次回の利用予約を呼びかけた。また、平岡 公園のテニスコートに空きがない場合には、清田南 公園の利用を勧めた。

## (6)付随業務 ▽ 広報業務

▼ 新型コロナウイルス感染防止対策に関する公園 施設の対応を迅速かつ正確に利用者へ伝えることを 目的として広報を行い、施設閉鎖情報や感染防止対 策の発信、利用者の感染防止を考慮した取り組みに 努めた。

▼ インターネットを効果的に活用し、リアルタイムな情報発信に努めた。

・公式ホームページ

平岡245,883件(目標値100,000件·前年比162% 増)

清田南10,143件(前年比125%増) と大幅な増加となった。

・メールフォームの活用

公式ホームページ内のメールフォームから来る 問合せに即時に対応した。

▼ 公園ホームページについてのウェブアクセシビリティ研修を担当職員対象に実施した。また取組確認・評価表を、令和5年3月29日に公開した。

#### ▼ プレスリリースの活用

新型コロナウィルスによる緊急事態宣言中は開花情報やイベント情報等の告知を自粛したが、緊急事態宣言の解除以降は、ミニコミ誌に情報提供するなど媒体に取り上げていただく機会を増やす努力をした。

#### ▼ チラシの配布の中止

例年、子ども向け自然観察・環境教育系のイベント 情報のチラシ配布を近隣教育機関やまちづくりセン ター新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から利 用者の安全面を考慮し配布数等を制限した。

▼ 梅林や平岡公園を知ってもらうための広報誌を 500枚作成し、ウメ開花期間中に配布した。

#### ▽ 引継ぎ業務

▼前回から継続指定を受けており、引継ぎ業務はない。

今年度は、コロナ 対策に関する問い 合わせが多く、リア ルタイムで情報提 供ができるツールと して、質問への回答 を含め、情報発信 に務めた。

また、平岡公園及び清田南公園大田南のアクセス数を得た。こまめな自然情報の発信に務めたことから閲覧者が増えたと思われる。

メールフォームでのフォームでの大きに、公園に、公を取りに、公を取りをできまり、今年の方のの方をは、の方は、日本の方は、日本の方は、日本の方は、日本の方は、日本の方を見が、これのおきが、ただいた。

# A B C D

自然や施設などのその時々の発信を行ったことで過去最高のアクセス数となったことは高く評価しませ

今後も来園者が 必要としている情 報などを検討し、 こまめな情報発信 につとめていただ きたい。

D

#### 2 自主事業その他

#### 自主事業

- ▼手数料事業(開花期間臨時売店、自動販売機) 手数料収入1,775.9千円(計画3,360千円)
- ▼売店事業収入68.1千円(計画20千円)
- ▼イベント事業収入33.5千円(計画40千円)

▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等

▼第三者委託の業務についてはすべて市内企業に発注した

▼管理事務所で、ウメ開花時期には、第2駐車場とログハウス で、車いすの貸し出しを行い、来園者の利便に供した。

管理事務所のロビーにて配布

手数料事業及び売 店設置事業収入 は、新型コロナウイ ルス感染拡大防止 による「梅まつり」中 止のため、売店の 縮小などにより大き「を評価します。 く減収となった。ま た、イベント収入も コロナによる自粛 ムードから参加者 目標は達成したが、 コロナ禍前にくらべ ると参加者減による 減収となり、今年度 も、新型コロナウイ ルスの影響により 計画から大きく減収 となった。

コロナ禍前と比較 すると自主事業収 入は減収とみられ るが、イベントの 参加者目標を達 成している点など

ВС

Α

#### 3 利用者の満足度

実施方

利用者アンケートの結果

法 イベント参加者への配布 調査数 185人 結果概 清田区・厚別区の居住者の利用が多い。 要 自家用車・徒歩での来園が多い。 来園目的は、イベント及び自然観察が多い 公園の総合満足度は、目標値75%(要求水準 70%)に対して100%と大幅に上回った。 スタッフの接遇に対する満足度は、目標値85% (要求水準80%)に対して97%と大きく上回っ た。 利用者 からの 意見·要 望とそ の対応

季節毎に来園者 アンケートを実施し た。しかしながら、 新型コロナウイルス を評価する。 感染拡大防止の観 | 意見・要望につい 点から対面式での 調査を自粛したた め、調査数が前年 より少なくなった。コ ロナ禍で、アンケー トを実施する事が難 しい状況ではあった が満足度について は、接遇・公園総合 満足度共に要求水 準を超えて高い評 価を得られた。

意見・要望につい ては、今年度は称 賛を多くいただき、 改善要望などはな かった。今後も利用 者に親しまれる公 園管理、利用者対 応を継続する。

要求水準を10ポイ ント以上上回り、 100%となったこと ても称賛が多かっ たことを評価す る。

В С D

CD

#### 収支状況

 $\nabla$ 収支

> R4年度決算 項目 R4年度計画 差(決算-計画) 収入 608 63.623 64,231 指定管理業務収入 60,263 61.580 1,317 指定管理費 56.491 56.542 51 利用料金 3.772 4.576 804 その他 0 462 462 2,651 自主事業収入 3,360 **▲** 709 支出 63,623 61,933 ▲ 1,690 指定管理業務支出 63.028 60.504 **▲** 2.524 自主事業支出 595 1.429 834 収入-支出 0 2,298 2,298 利益還元 0 0 法人税等 0 242 242

新型コロナウイルス 感染防止の観点か ら「梅まつり」は、中 止としたが、梅開花 期中は、梅林を開 放、また売店を縮小 収とはなったが、 し梅ソフトとお土産 品の販売を行った。 しかし自粛ムードか ら来園者は例年よ り少なく自主事業も 減収となった。 梅まつり以外のイベ制限等も緩和が ントは、感染対策を 行い開催した。 支出については、継一況を鑑み、収入回 続して効率的な業 務に取り組み、予算ただきたい。 の的確な運用等で 経費削減を目指し たい。

(千円)

2,056

自主事業収入に ついては、新型コ ロナウイルス感染 拡大防止の影響 により計画より減 縮小しつつも売店 設置を実施し、昨 年度より収入が増 えたことを評価す る。

В

感染症による行動 |進み、以前の生活 に戻りつつある状 復に取り組んでい

#### ▽ 説明

純利益

▼ 指定管理費収入について、「札幌市都市公園の維持管理に関 する協定における費用見直し等に関する確認書」により51千円の増 となった。

0

2,056

- ▼ 利用料金収入は、コロナ禍の収束により804千円の増となった。
- ▼ 自主事業収入は、「梅まつり」の中止により、自主事業収入の委 託手数料の減収が大きく、計画より709千円の減となった。
- その他収入は、特定費用準備資金取崩収入462千円による。
- ▼ 指定管理業務支出は、修繕費、原材料費等の節約により、計画 から2,524千円の減となった。
- ▼ 自主事業支出は、計画時より事務局経費が増加したこと等で計 画より834千円の増となった。
- ▼ 利益還元については、公益法人の特質上、収益の約半分を繰り 入れている。

#### <確認項目> ※評価項目ではありません。

#### 安定経営能力の維持

▼当協会の財務状況等は、令和4年度、赤字決算になる見込み はなく、運営安定化積立資産の留保金もあるため、安定経営能 力に問題はない。

適 不適

▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン 条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応	適不適	į
<ul> <li>▼各条例の規定に則り、全て適切に対応した。</li> <li>▼情報公開請求はなかった。</li> <li>▼当公園の管理等に係るオンブズマンの実地調査はなかった。</li> <li>▼公園使用者に対する告知として、暴力団活動や暴力団の資金源となる活動に公園を使用できない旨の文書を園内に掲示した。</li> <li>▼物品購入や業務の委託等に際して、暴力団員や暴力団関係事業者を相手方としないよう徹底した。</li> </ul>		

Ⅲ 総合評価						
【指定管理者の自己評価】						
総合評価	来年度以降の重点取組事項					
平岡公園						
1. 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、梅まつり中止など計画を変更せざるを得ない状況となった。梅まつり以外のイベントはほぼ計画通り開催した。管理作業については、ほぼ計画通りに業務を遂行できた。公園スタッフに安全教育を徹底し、安全管理に努めた。	次年度も安全第一に作業を実施する。自主事業については採算を考慮し、収支を維持できるものを企画する。また、今年度も自粛した、「ひらおか梅まつり」を開催し来園者の増を図りたい。その他、広報を控えた参加者が減少したイベントが多く、広報をおこない平岡公園の強みを生かし、環境教育を基調としたイベントの参加者増や活動の減ったボランティア活動の回復を図りたい。					
2. 指定管理期間中ボランティアの活動支援に力を入れてきたが、新型コロナウイルス拡大防止のため、ボランティア活動の開始時期を変更するなどし、できる限りの活動と活動支援をおこなった。	1. ボランティア活動の支援充実に取り組む。 2. 環境教育イベント充実及び広報に取り組む。					
3. ウメの生育管理に重点を置き、ウメの生育向上に努めた。特にウメの花芽を食害するウソ対策に重点を置き、様々な方法を試験的に行った結果、前年に引き続きウソの被害を最小限に抑えることができた。 4. 新型コロナウイルス拡大防止の為、前年に引き続き「梅まつり」を中止としたが、ウメ開花期間中は梅林を開放し、売店を縮小し開設して利用者サービスを行った。	3. 引き続きウメの管理に重点を置き、特にウソの食害対策に取り組む。					
清田南公園  1. 指定管理者として、ほぼ計画通りに業務を遂行できた。公園スタッフに安全教育を徹底し、安全管理に努めた。  2. 公園の来園者が増えた。遊具広場がリフレッシュされたことから、ファミリーの利用が増えた。ホームページの閲覧数も増加した。来園者が増えた事から園内のゴミも増えているためゴミ回収と園内点検に努めた。	次年度も安全第一に作業を実施したい。園内点検を行い安全管理に努めたい。					
3. 利用者の利便を考え自動販売機1台の設置を継続 した。						

# 総合評価 改善指導・指示事項 R3年度に引き続き、新型コロナウイルスの行動制限等 各項目の所管局評価参照。引き続き、事故等の防止やの影響を受けたボランティア活動やイベントが多い中、ボランティアの活動時期を変更したり、梅まつりでは縮小しつつも売店を設置したりと、様々な工夫をしながら実施にむけて取り組んでいたことを評価します。清田南公園では来園者数・ホームページアクセス数が増加し、それに応じた柔軟な対応を行っていたことを評価します。